

## 至仏山山行報告

(山 域) 尾瀬ヶ原 至仏山

(コース) 鳩待峠～山の鼻～至仏山～鳩待峠

(日 時) 平成 28 年 10 月 29 日 (土)

(天 候) 曇りのち雨、霰

(参加者) CL 狩野 (記録) 宮城、時田

(山行タイム) 10 月 28 日 千葉駅 21:00 集合＝片品村さわやかトイレ駐車場 24:30 仮眠

10 月 29 日 鳩待峠 8:15＝山の鼻 9:15＝至仏山 12:00＝子至仏山 12:50＝鳩待峠 14:30  
尾瀬高原ホテル 15:30 宿泊

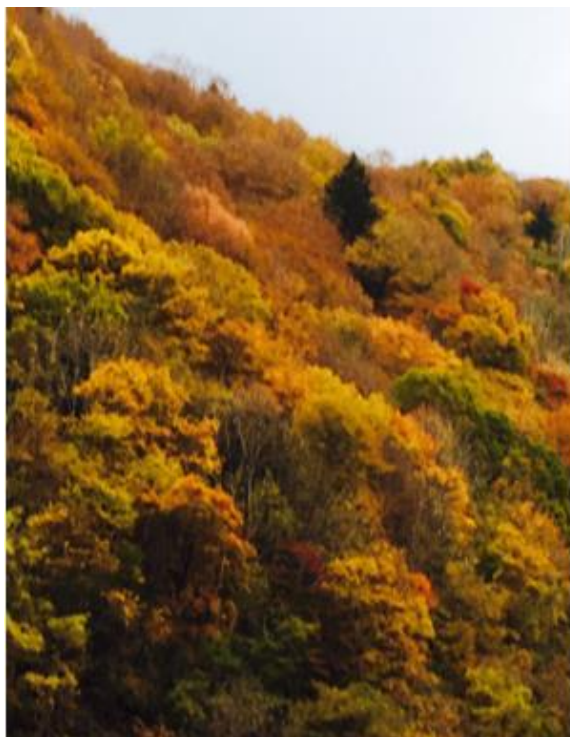
10 月 30 日 尾瀬高原ホテル 9:00＝日光いろは坂 10:30＝富弘美術館 11:30＝千葉駅 16:00

(山行報告) 10 月 28 日

夜 20:00 小雨の降る千葉駅へ到着、集合時間の 21:00 までにはまだ 1 時間、夕食を食べてから集合場所へっと思ったが、時間が早いのでちば山事務所によって今夜の仮眠用テントを借りに行った。

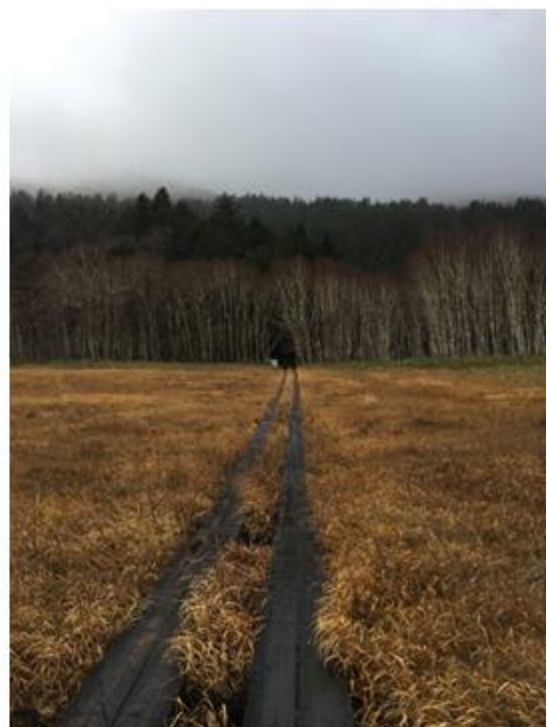
その後、夕食でも食べようと思い集合場所の北口に降りると T さんの車がすでに到着していた。(はやっ!) コンビニでスパゲッティーとなめこ汁を買い車の中で食事したら、なんと! 車の中がスパゲッティー臭でいっぱいになってしまった。しばらく臭いは消えず、その後油っこい臭いに変身した。

24:30 仮眠前にコンビニにより明日の朝食、行動食と今夜の宴会の酒を購入しさわやかトイレの駐車場にテントを設営。車道に近かったので車の音が結構大きかった。途中トイレに行くと夜空に星が! 明日は晴れか? と思いを巡らせ就寝。



朝 6 時くらいから朝食を食べ 7 時テントを撤収して出発。鳩待ち峠への道路規制も無く途中の紅葉を楽しみながら 1 時間ほどで鳩待峠到着。駐車料金は 2,500 円! 結構高い! 駐車場は紅葉時期だから満

車か？と思いきや、20 台程度しか駐車していなかった。混雑を予想して前泊で来たのに、ちょっと拍子抜けしてしまった。途中の道路では紅葉が綺麗だったが鳩待峠では冬のような風景になっていた。トイレに行って出発、山の鼻への下りの木道は濡れ落ち葉でかなり滑りそう、一步一步慎重に足を進めていると、左手の沢のあたりから、手の届きそうなところに濃い色の虹がニョキニョキ伸びていた。「虹の始まりってこんななんだ。」と話していると、前を歩いていた単同行のオジサンも足を止めて「虹！」と言って振り返ってこちらを見ていた。なんとなくもっと話をしたそうだったが「綺麗ですねー」とか言いながら通りすぎてしまった。下りもゆるくなり川沿いの木道から橋を渡ると山の鼻の尾瀬ヶ原ビジターセンターの屋根が見えてきた。約 1 時間くらいで山の鼻に到着。トイレ休憩の後ビジターセンターに入ったら 3 分の 1 くらいに縮小されていて、閉館の準備って感じだった。鳩待峠も山の鼻も山小屋はすでに閉店していて草紅葉も白っ茶けた色になり尾瀬は早くも冬支度って感じだった。



至仏山の登山口から山頂を見上げると真白い雲で覆われていて何にも見えない。「午後から晴れる予定だから山頂に行けばきっと晴れてる！」とみんなで話しながら登山口へ。出発前にTさんがTNさんより「至仏山は蛇紋岩が滑るから気を付けてね。」と忠告されていたが、いきなり階段に詰め込まれた蛇紋岩が登場！「木道の次は蛇紋岩か」とつぶやきながら沢のように流れている雨水の道を少しづつ高度を上げていった。山頂まであと半分の所で振り返ると尾瀬ヶ原が一望できた。燧岳は霧の中で全く見えないがなんとなく空も明るくなってきて山頂は晴れるかな？って感じだった。

ここから先は大きな蛇紋岩が現れて来るので、ストックをしまい両手で石を掴みながら登って行った。自分は今回ストックを忘れてしまい木の枝棒を使っていたが、ここで捨てて両手をフリーにした。山頂に近づくにつれて天気が怪しくなってきた、「ん～？午後から晴れるって予報だったのに……。」山頂手前で霰が降ってきて風も出てきた。至仏山の山頂はいつも風が強いイメージだったので山頂を抜けてから昼飯にしようと考えていた。



しかし山頂に到着してみると相変わらず霰は降っていたが風があんまりない、記念撮影！と思い先に山頂にいた二人組に写真をお願いしたら、「手が悴んでできません。」と断られてしまった。確かに気温がだいぶ低くなっていたが体が濡れていなかったからか、あまり寒さは無かった。仕方なく二人ずつ写真を撮り小至仏山を目指して下山。小至仏山の方を覗いたら強風が吹いていた、左にトラバースできそうな道筋が有ったのでそちらに進むと、下からさっきの二人組が引き返してきた。下の方に階段が見えたが方向的には鳩待ち方面ではなく、山の鼻に下るコースかな？と思いつつGPSで確認した。このまままっすぐ行けば風を避けつつ進める事を確認したが、残り少しのところまで道が消えてしまった。前を見ると10mくらい先に登山道が見えていたのでそのまま進み杯松のヤブコキを決行。難なく登山道に出れたがTさんは「初めてのヤブコキ！」って喜んでいて。(喜んでは無いか？ゴメンなさい・・・)しかし稜線にでると風は強く所々樹氷のようになっていた。早いところ樹林帯に入り食事をしようと思い小至仏山山頂に到着すると風が止んでいた。体を温めるため軽く食事をした。おにぎりはちょっと固くなっていたけど、食べてしまうと体も暖まり心も余裕がでてきた。



晴れていれば山頂からこんな景色が見れたかも？.....



しばらく下ると樹林帯になり木道も出てきてほっとしていると、後ろで「ドカン！」Mさんが両足を前に出したまま綺麗に座っていた。尾瀬は木道が一番危険で特に濡れていたり凍っているときは要注意。下に行くにつれて道がゴルジュのように深く掘れていて、両足をツッパリながら降りたらトイレに行きたくなってしまった。もう少しだから我慢っと思いながらインナーマッスルを鍛えるように括約筋を引き締めながら、ようやく鳩待峠に到着。





トイレに駆け込みほっとしたところで休憩所に戻ってくるとTさんが「ホテルまで運転するから飲んでもいいよ！」っと天使の囁き！アル中じゃないけど山を下りた時のビールは旨い！Mさんは酎ハイ、Tさんはお汁粉で「乾杯！」。ほろ酔い気分で尾瀬高原ホテルに到着。まずは温泉！ゆっくりお風呂に入り 2 次会開始またまた乾杯。夕食までは時間があるけどあんまり飲むと食事ができなくなってしまうので軽く飲んでから食事に行った。夕食はやっぱり山小屋とは違いデザートはメロンが付いていた。先々週の新歓が終わりやっと肩の荷が降りたってことで、今回は「自分にご褒美山行」って気分で、部屋に戻り 3 次会！またまた乾杯！明日は山は登らないので夜更かしして飲んでしまった。

翌日は朝から天気良くホテルの前のスキー場は綺麗に紅葉していた。まっすぐ帰るのはもったいないので日光廻りで帰ることにした。紅葉の時期なのに道路はガラガラ、どうしたのかな～と思っていると中禅寺湖あたりからいきなり渋滞が始まった。中禅寺湖で観光しようと思ったけど駐車場に入るのに大渋滞、観光をあきらめているのは坂に向かった。途中かなりゆっくり走っている車を抜いて少し行ったところで紅葉が綺麗な場所に駐車して紅葉を見ていたら、さっきのゆっくり車が通り過ぎるとその後ろが大渋滞！猿のようなオッチャンが運転している車が原因で後続車が切れ間なく渋滞してしまっていた。やっといろは坂を下りて日光方面に向かうとさらに渋滞。恐るべし日光紅葉渋滞！日光をあきらめ足尾銅山方面に抜けることにした。足尾方面は渋滞も無くスイスイで途中の昔ながらのドライブインで食事をして富弘美術館に寄り、完全に観光気分でまったりしてしまった。帰りの高速も渋滞は無く 16:00 に千葉に到着。

至仏山は何回か登っているが今回のような悪天候は初めてだった。今まで尾瀬の山小屋はこの時期くらいまではギリギリ開いている小屋もあったが、今回 11 月まで開いているはずの大清水小屋まで小屋終いしていた。

尾瀬の場合はホテルや民宿が沢山あるので山小屋に泊まらなくても有かなって感じだった。